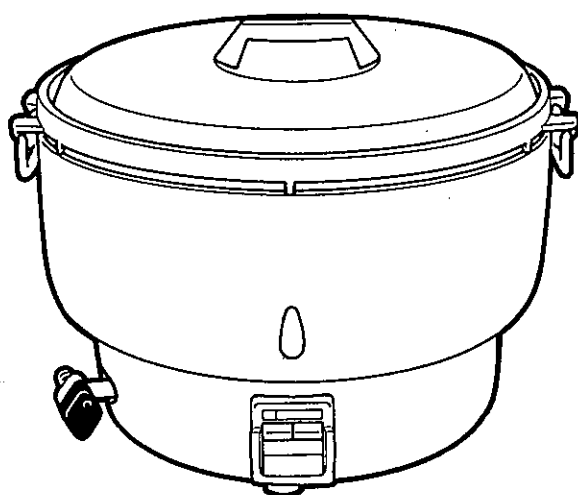
Rinnai®

ガス炊飯器 業務用

型式の呼び RR-30S1・RR-40S1・RR-50S1
RR-30SH・RR-40SK・RR-50SH
RR-30SK RR-50SK
RR-30S1-A
RR-30S1-B

取扱説明書

もくじ ページ

ご愛用の皆様へ

このたびは、ガス炊飯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- 本製品は業務用として作られています。一般家庭用には使用しないでください。
- 使用者が代わった場合には必ずこの取扱説明書を読んでいただき、かつ指導してください。
- 本製品は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店または当社事業所に連絡して再購入してください。

02762182

TRR30S-01×16(00)
09.08

安全上のご注意 必ずお守りください

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示については次のような意味があります。

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

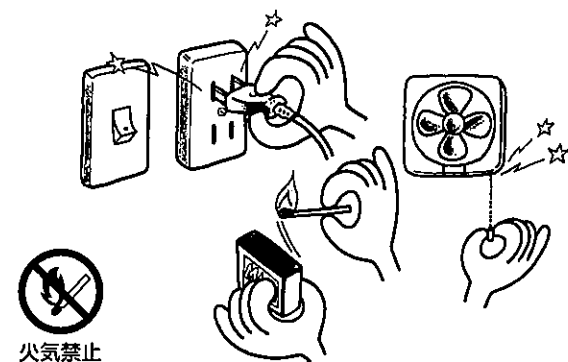
 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

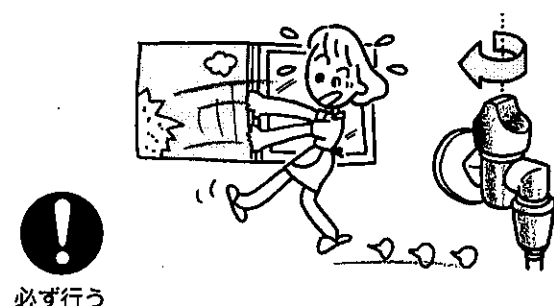
 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

ガス漏れ時のご注意

●ガス漏れの時は、火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話など使用しない。引火し爆発事故を起こすことがあります。

火気禁止

●万一ガス漏れに気付いたら
①すぐに使用をやめガス栓を閉じる。
②窓や戸を開けガスを外へ出す。
③販売店またはガス事業者・供給業者に連絡する。

必ず行う

⚠警告

●使用ガスについてのご注意

●機器が使用ガス（使用ガスグループ）に適合していることを機器の銘板で確認してください。
●表示以外のガスでは使用しないでください。不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。
●転居されたときにも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを、必ず確かめてください。
※ガスの種類には都市ガス数種類とLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

機器の銘板は炊飯燃焼部に張ってあります。

〈表示の内容〉

形式の呼び
ガスの種類およびグループ ← ガスの種類を確かめる
ガス消費量
製造年月 および製造番号 YS ― 例）08.04（2008年4月製造）
販売業者名

●設置について

●火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス鋼板などを直接張った場合でも可燃物と同様の距離が必要です。
●機器を設置した後、機器の周囲の改造をしないでください。（例えば、機器を囲ったり吊り戸棚をつける等）設置基準上問題となる場合があり、また、不完全燃焼や火災の原因になる場合があります。
●台の下等熱気のこもるところに設置しないでください。不完全燃焼や、故障の原因になります。

●周囲の壁などが木材のような可燃物の場合
・壁から15cm以上、上方30cm以上、必ず離してください。

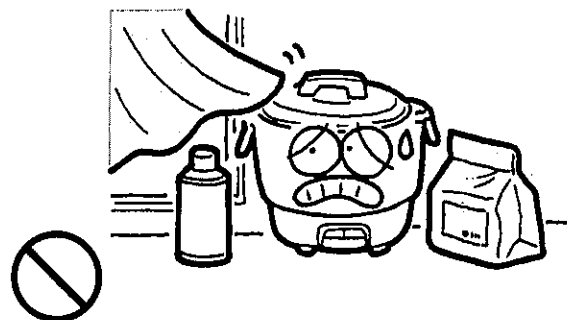
●可燃物の壁から15cm以上離せない場合
・防熱板を壁に取り付けてください。

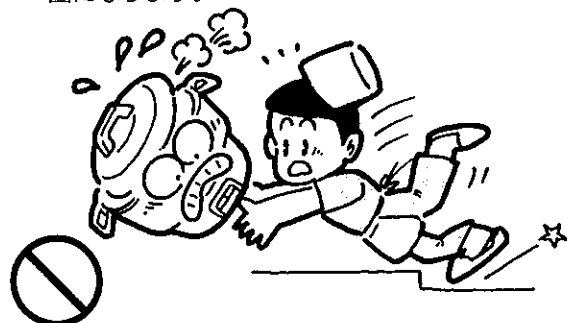
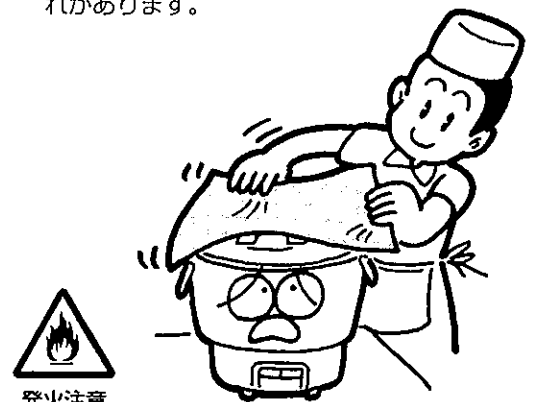
防熱板について

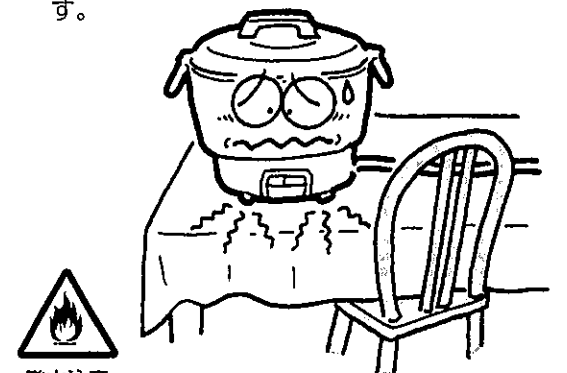
材質	厚さ	ご注意
鋼板	0.6mm以上	3cm以上の空間をとり、有害な変形のないよう補強してください。
ステンレス鋼板	0.6mm以上	

安全のために必ず守ってください。

⚠警告

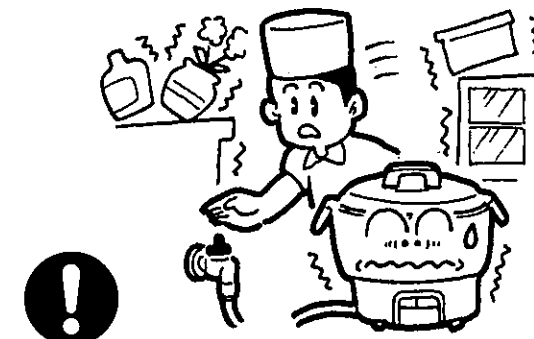
●物が落ちる恐れのあるところや、燃えやすいもの、引火性(スプレー缶など)のもののそばでは絶対に使用しないでください。焦げたり燃えたりして火災の原因になります。

●子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。やけど・けがをする恐れがあります。

●炊飯中に機器を持ち運ばないでください。炊飯中の機器は高温の排気や蒸気が出るので危険です。また、転倒すると、火災・やけどの原因になります。

●タオル・ふきんなどを機器にかぶせないでください。不完全燃焼や機器の損傷・火災の恐れがあります。

発火注意

●傾斜した場所、不安定な場所や新聞紙やビニールシート等のような熱に弱い敷物の上では使用しないでください。火災の原因になります。

発火注意

●火をつけたまま離れない。
火をつけたまま離れたり、おやすみになることを禁止します。火災になる場合があります。

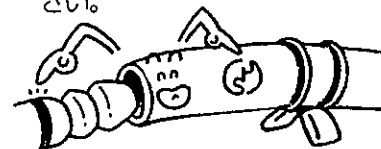
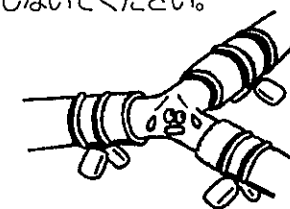
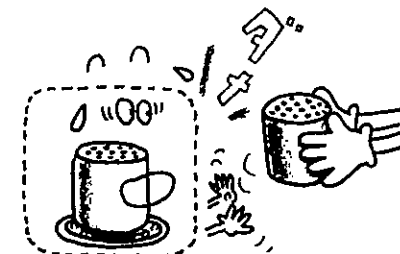
⚠警告

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災などの場合、あわてずに使用を中止し、ガス栓を閉じてください。

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。火災・ガス漏れの恐れや異常動作してけがをすることがあります。

分解禁止

⚠注意

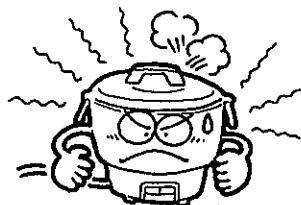
●**ガス事故防止**
ゴム管はφ13mm(都市ガス用)、φ9.5mm(LPガス用・都市ガス用)のガス用ゴム管(検査合格又はJISマークの入っているもの)を使用してください。又、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるとガス中毒やガス爆発の原因になります。傷んだゴム管は必ず取り替えてください。

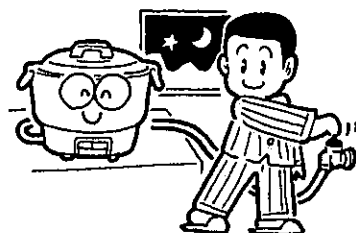
・ゴム管は、ゴム管口の赤線まで差し込みゴム管止めで確実に止めてください。

・ゴム管の継ぎたし及び二又分岐はしないでください。

●炊飯以外の用途には使用しないでください。
過熱・異常燃焼による火災などの原因になります。

安全のために必ず守ってください。

⚠注意

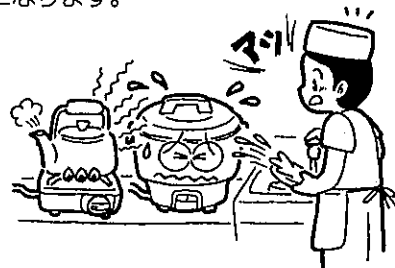
●炊飯中、炊飯後は、炊飯レバー・点火レバー・口火レバー以外は高温になっていますので、手を触れないでください。やけどをすることがあります。特に幼児にはさわらせないようご注意ください。

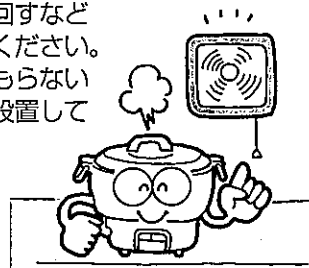
接触禁止

●使用後は消火を確かめ、お出かけ・おやすみになるときはガス栓を必ず閉じてください。

●炊飯中は、排気口から高温の排気が出ますので、顔や手などを近づけないでください。また、炊飯直後にふたを開けるときの蒸気にも注意してください。やけどをすることがあります。

高温注意

●水のかかるところや、他の熱源(調理器・焼物器等)の近くでは使用ないでください。故障の原因になります。

●バーナー部にしゃもじなど可燃物が落ちていないか確認してください。炊飯中に燃え出し危険です。

発火注意

●お部屋の換気口(給気口・排気口)は、常に確保し、物などでふさがないでください。又、使用中は換気扇を回すなど換気にご注意ください。又、熱気がこもらないような場所に設置してください。

●感熱部・感熱部受けのお手入れはこまめに行ってください。汚れていたり、炊飯かまとの間に異物があると、センサーが正常に働かないことがあります。

●点火するときは、点火確認窓に顔を近づけ過ぎないようにしてください。やけどをするおそれがあります。

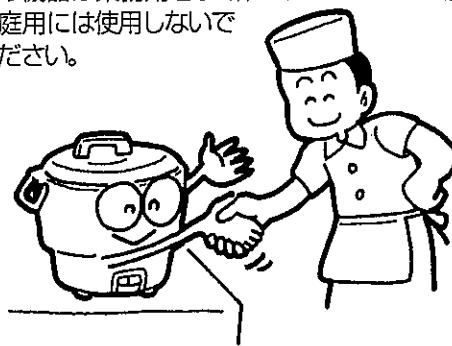
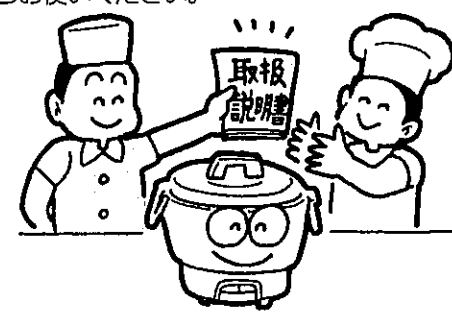
気をつけていただきたいこと

■炊飯上のお願い

●洗米が不十分ですと、ニオイ、黄バミや炊飯不良の原因となりますので注意してください。
●お米を洗いすぎて米粒が割れ小さくなったとき、また、小米が大量に入ってますと早切れすることがありますのでご注意ください。
●続けて炊飯される場合、炊飯かまの内底を良く洗い機器が十分冷えてから炊飯してください。洗い残しがあったり、十分に冷えていないと早切れしたりしてうまく炊き上がらないことがあります。
●この炊飯器は白米専用に調整されております。
●かやくご飯や五目ご飯を炊飯される場合
・お米の量は最大炊飯量の50～60%(50%が望ましい)位にして炊いてください。
・具を入れる前にお米を水加減し浸漬した後、炊く直前に具をお米の上にのせ、かきまぜないでください。
・具の種類や水加減によっては早切れしたり、吹きこぼれしてうまく炊き上がらないことがあります。また炊き上がっても底に焦げ色がつきます。
●添加物(油等)、調味料(バター、ケチャップ等も含む)を入れて炊飯すると炊飯不良の原因になることがあります。
●もち米を混ぜて炊飯した場合、もち米の量によりうまく炊けないことがありますのでご注意ください。

■無洗米を炊くときのポイント

●水を加えた後、かき混ぜる
無洗米は水を加えると米の表面に気泡ができて、水が吸収されにくくなります。水を加えた後、かるくかき混ぜるとお米の周りの気泡が取れ、水を吸収しやすくなります。
●1～2度すすぐ
無洗米の種類によってはデンプン質が多いものがありますので、そのまま炊飯すると炊飯不良の原因になります。1～2度すすいでにごりを少なくしてからの炊飯をお勧めします。
炊飯量の多い場合は、特によくすすいでください。また、炊く前に釜の底から軽くかき混ぜてください。
●すすがずに炊飯するときは米量を制限
炊飯かまに表示している米量までにしてください。
(表示内容)
炊飯器のタイプ　米量
10リットルタイプ…6kgまで(=4升、=7.2リットル)
8リットルタイプ…5kgまで(=約3.3升、=6リットル)
6リットルタイプ…4kgまで(=約2.7升、=4.8リットル)
●お米をひたす
浸透時間は一般の米と同じで夏場30分、冬場60分くらい必要です。

●本製品は業務用です。
この機器は業務用として作られています。一般家庭用には使用しないでください。

●使用者が変わった場合には、必ずこの取扱説明書を読んでいただき内容をよく理解してからお使いください。

使用前の準備

1.使用ガスを確認する

●炊飯器の銘板に表示しているガスの種類とお宅のガスが一致しているかまず確かめてください。

ガスの種類を確かめる

型式の呼び（型式名）
ガスの種類およびグループ
ガス消費量
製造年月 および製造番号 YS
製造業者名

製造年月を表示しています。
例）08.04（2008年4月製造）

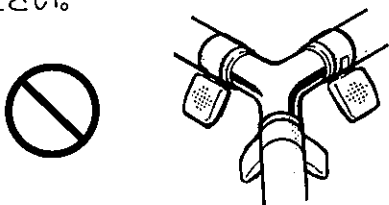
2.ガスを接続する

■ガス接続

●ガス接続口径はφ13mm（都市ガス用）φ9.5mm（LPガス用・都市ガス用）ホースエンドになっています。

●ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短く（2m以下で適当にゆとりを持たせる）また機器の下を通したり機器に触れたりしないようにしてお使いください。

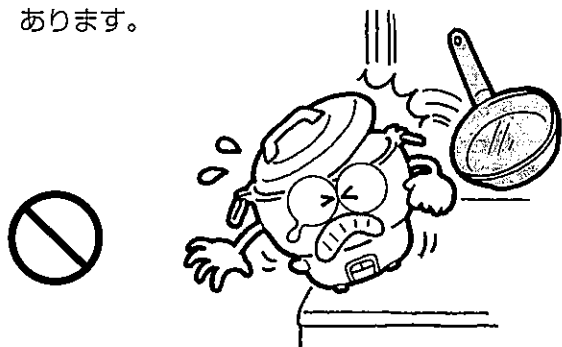
●ゴム管はゴム管口の赤線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めてください。

●ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐は行わないでください。

●ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。（ビニール管は弾力性がなく熱にも弱いです。）またひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるゴム管は必ず取り替えてください。

●ヒューズコックをご使用の場合は、ガス種、ガス量に適したヒューズコックをお選びください。

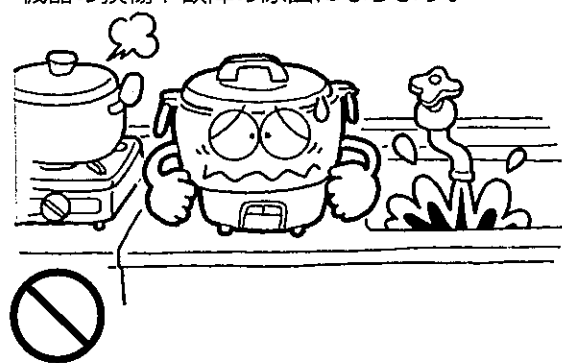
3.設置場所の注意

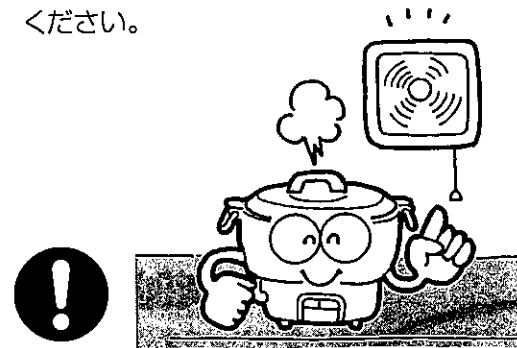
●**安定した、落下物や風の心配のない所**

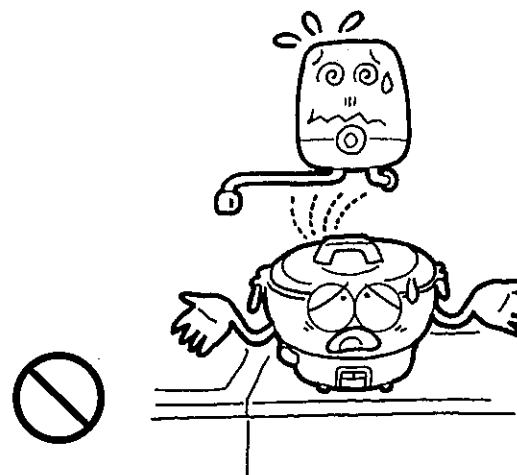
棚の下など落下物の危険がある所や、傾斜した所、不安定な所、風の当たる所では使用しないでください。機器の上に落ちたものが燃えて火災になったり風により作動不良の恐れがあります。

●**可燃物のない所**

機器の上やまわりには可燃性（カーテン・紙ぶくろなど）や引火性（スプレー缶など）のものは置かないでください。使用中に近くのものが燃えて、火災になることがあります。

●**水や熱のかからない所**

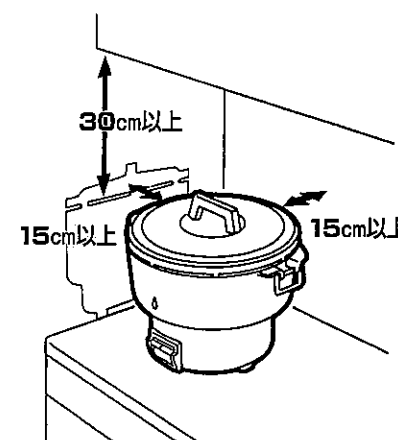
水のかかる所や湿気のある所、他の熱源（調理器・焼物器等）の近くでは使用しないでください。機器の損傷や故障の原因になります。

●**換気のできる所**

お部屋の換気口（給気口・排気口）は常に確保し物などでふさがないでください。又、炊飯中は換気扇を回すなどして換気をしてください。又、熱気がこもらないような場所に設置してください。

●**湯沸器の下に設置しないでください。**

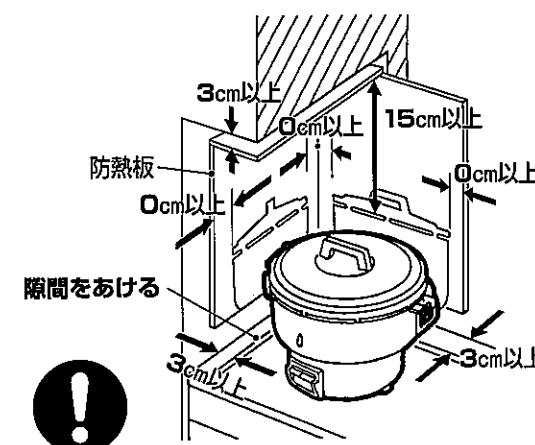
湯沸器が誤動作することがあります。

●**幼児の手の届かない所**

幼児の手の届く所では使用しないでください。本体に触れてやけどしたり、蒸気でやけどする恐れがあります。

4.壁や上方と間隔をとる

●**周囲の壁などが木材のような可燃物の場合**

壁から15cm以上、上方30cm以上、必ず離してください。

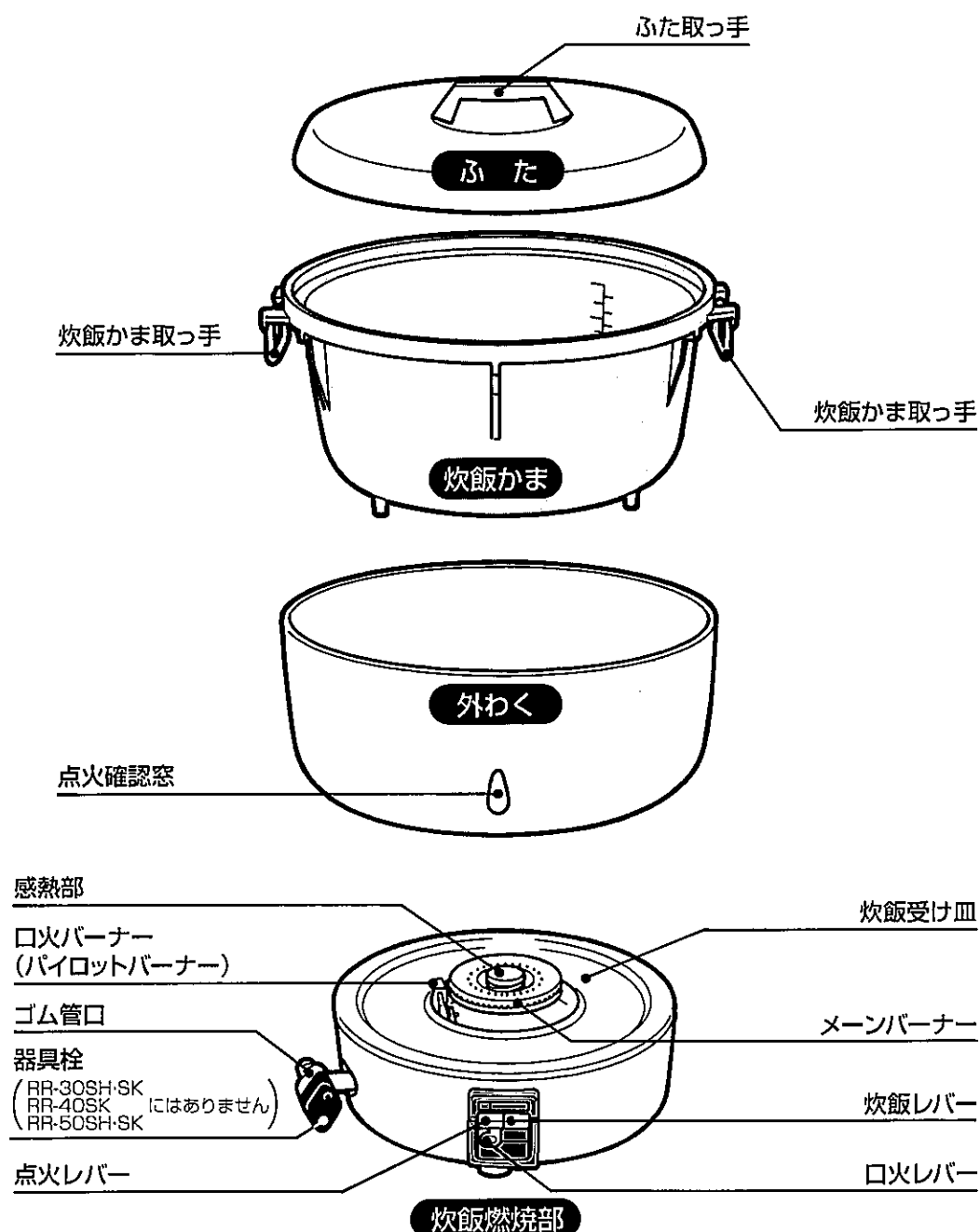
●**可燃物の壁から15cm以上離せない場合**

防熱板を壁に取り付けてください。

防熱板について

材　質	厚　さ	ご注意
鋼　板	0.6mm以上	3cm以上の空間をとり、有害な変形のないよう補強してください。
ステンレス鋼板	0.6mm以上	

⚠警告

設置するときは可燃物との距離を確実に離す。（火災予防条例で規制されています。）距離が近いと火災の原因になります。

各部のなまえ

はじめてお使いのとき

●炊飯かま・ふたなどは中性洗剤で洗った後、水洗いしきれいな布で十分に水気をふきとってください。

●消毒のため炊飯かまを煮沸するときは米のとぎ汁を8分目位入れて煮沸してください。ご飯もこびりつきにくくなります。
・水質によっては炊飯かまの内面が黒っぽく変色することがありますが、全く害はありません。

●炊飯以外の使い方をした場合（たとえば、食品の煮沸消毒に使ったり、蒸し器として使った場合など）、炊飯かまの内面が黒っぽくなります。

炊飯方法(炊飯前の準備)

1. お米を正しく計る。

●米の換算表(参考)

1升＝1.5kg ＝1.8ℓ	2.4ℓ＝2.00kg＝約1.3升
1kg＝1.2ℓ ＝6.7合	3.0ℓ＝2.50kg＝約1.7升
1ℓ＝0.83kg＝5.6合	3.6ℓ＝3.00kg＝ 2.0升
	4.0ℓ＝3.33kg＝約2.2升
	6.0ℓ＝5.00kg＝約3.3升
	9.0ℓ＝7.50kg＝ 5.0升
	10.0ℓ＝8.33kg＝約5.6升

2. お米を洗う。

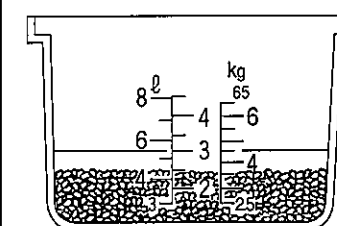
●たっぷりの水で手早く十分に洗う。
洗い足りないと、ニオイ・黄バミや炊飯不良の原因になります。
●泡立て器を使わないでください。
●洗米機に長時間かけると割れ米が多くなり、炊飯不良の原因になります。
水圧式では、約3分が目安です。但し、水圧の違いで時間は変化します。
●気圧、水質、水温、米の種類、古米等の条件により、炊飯能力が変わることがあります。最大炊飯量でうまくご飯が炊けない場合は8割程度の炊飯量をおすすめします。

3. 水加減。

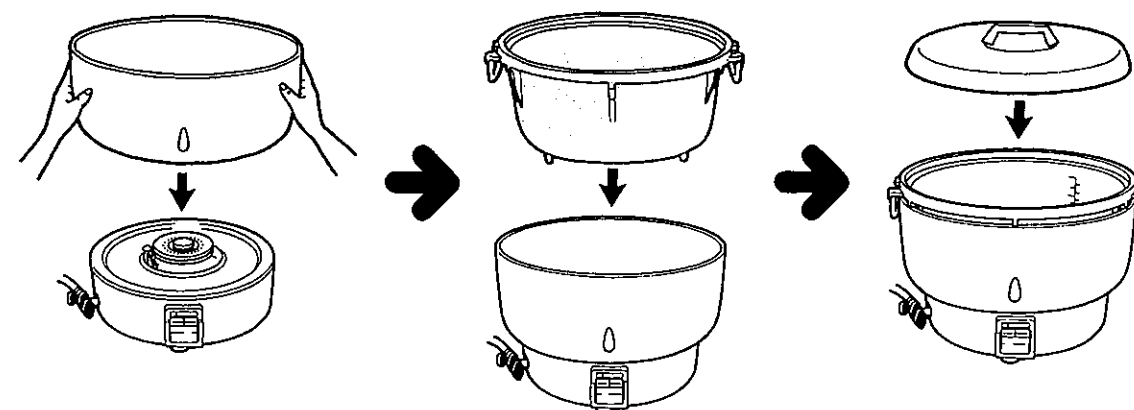
●炊飯かまの水位目盛は標準の水加減です。お米の種類やお好みに合わせて水加減してください。
●水加減後30分～1時間位水につけておきますと十分水分を吸収し芯のないおいしいご飯が炊きあがります。
・夏場30分・冬場1時間位が適正です。

お願い

添加物（油等）、調味料（バター、ケチャップ等も含む）や具が沈澱するとうまく炊けない原因となるのでかきまぜずすぐに炊飯してください。

[(例)RR-40S1型]

4. 外わくを炊飯燃焼部に正しくのせて、炊飯かまを外わくにセットし、ふたをします。

●外わくが炊飯燃焼部よりズレてセットされた場合、または炊飯がまが外わくにきちんとのっていなくて傾斜して浮いている場合は、あらためて正しくセットしなおしてください。

●炊飯かまの底についた水や異物が立消え安全装置やバーナーについて、点火不良およびバーナー目づまり燃焼不良の原因になりますのできれいにふきとってください。

炊飯方法〔炊飯〕

炊　飯

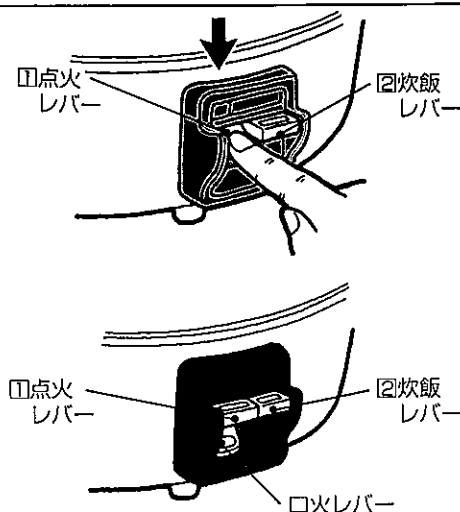
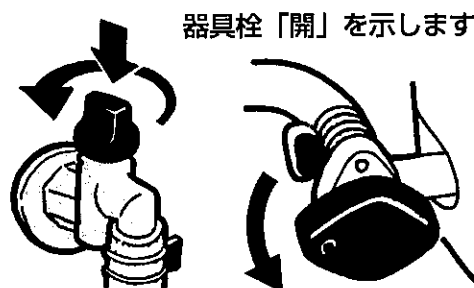
●点火レバー、口火レバー、炊飯レバーがすべて「閉」の位置（上部）にあることを確かめてからガス栓、器具栓（RR-30SH・SK・40SK・50SH・SKにはありません）を開いてください。

1.口火バーナーの点火

●点火レバーを下へ「カチッ」と音がするまでゆっくり押し下げて、そのまま数秒間（5秒以上）待ってください。

●手をはなしても口火バーナーに点火していることを点火確認窓から確かめてください。

（点火レバーだけがもとの位置にもどり、口火レバーはセットされたままです。）

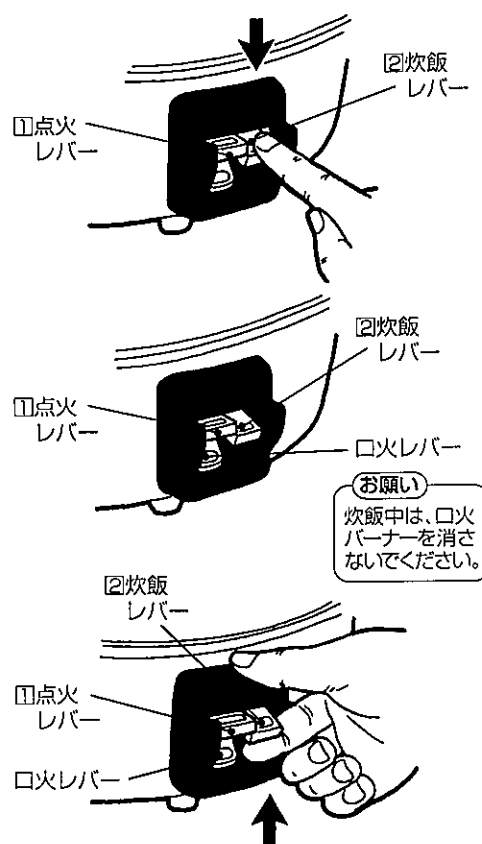
※点火レバーから手を離したときに火が消えた場合は、押し下げ時間の不足です。もう一度同じ操作を繰り返し、点火レバーを押している時間を前回より長くして、ゆっくり手をはなしてください。

2.メーンバーナーの点火

●口火バーナーに点火したことを確かめた上で、右側の炊飯レバーを押し下げると、メーンバーナーに点火し、炊飯をはじめます。このとき、必ずメーンバーナーの点火を確認してください。

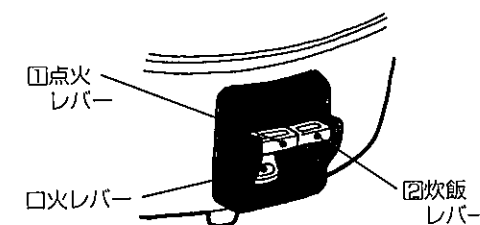
●炊飯中は、口火バーナーを消さないでください。

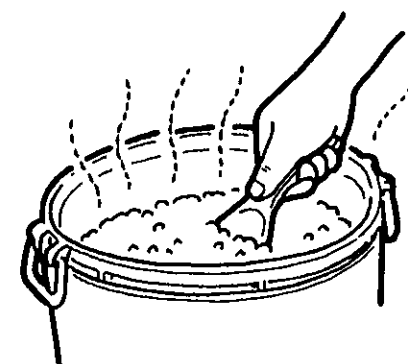
（炊飯レバーを押し下げた際、手を離しますと途中まで炊飯レバーがもどりますが、セットはされています。）

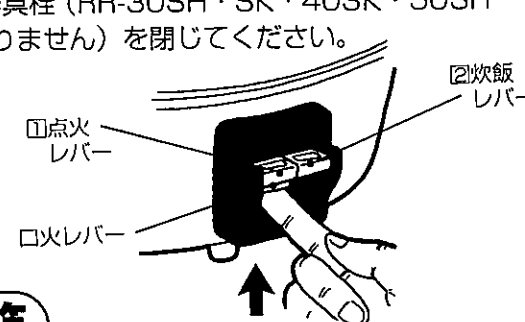
●万一メーンバーナーに点火しなかったり、炊飯途中で火を消すときは、炊飯レバーを「カチッ」と音がするまで強く引き上げてください。

※点火の順序を逆にしますと点火はできませんので点火レバーを押さずに無理に炊飯レバーを押さないでください。ご使用中などに燃えかたがおかしいときは、一旦消火した後、バーナーの点検をしてください。バーナーの炎口にほこりがつまったり、煮こぼれ汁がついたりすることがありますので、バーナーが冷えてから炎口の掃除をし、もう一度点火してください。
なお、ご不審な場合は、お買い上げの販売店か、当社事業所に連絡してください。

3.自動的に消火します。

●炊飯が終わるとメーンバーナーは自動的に消火し、炊飯レバーはもとの位置にもどります。

※むらし中は、口火バーナーを絶対に消さないでください。

4.ご飯をむらします。

●消火してすぐにふたをとりますと、おいしいご飯になりません。消火してから必ず15〜20分程度むらしてください。
●むらし中は、口火バーナーを消さないでください。
●むらし終了後、ご飯をよくほぐし、口火レバーを上に引き上げて、口火バーナーを消火してください。口火レバーをそのままにすると、ご飯がこげることがあります。
●ご飯をほぐすときは、ご飯全体をむらなくかき回して余分な水分（湯気）を放出してください。

5.使用後

●口火レバーを上に引き上げて、口火バーナーを消火し、ガス栓、器具栓（RR-30SH・SK・40SK・50SH・SKにはありません）を閉じてください。

空気調節

●この機器の空気調節は固定式のため、調節の必要はありません。そのままお使いください。

お　願　い

炊飯中や炊飯直後は、ふた、炊飯かま、炊飯かま取っ手、外わく、炊飯燃焼部は、高温になっていますので、取り扱いには十分ご注意ください。

あとかたづけとお手入れ

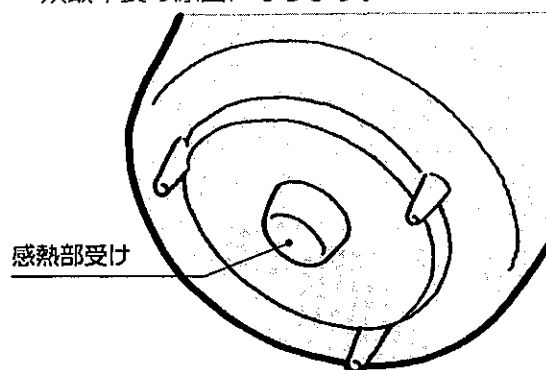
お願い まず確かめてください。1．ガス栓が閉まっている。2．本体が冷えている。

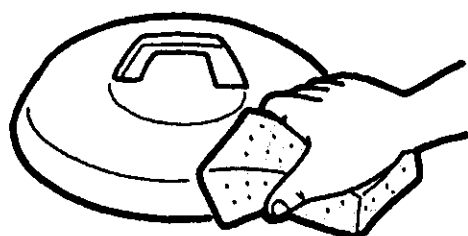
そのつどのお手入れ

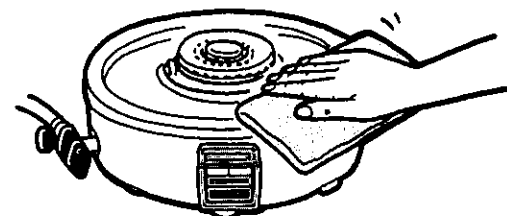
●炊飯かま

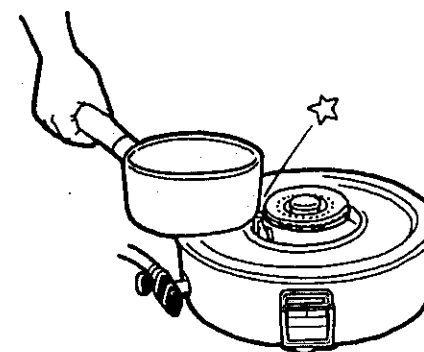
- ●炊飯ごとに炊飯かまについたごはん粒、おねば等を洗い落とし、つねに水切りよく保存してください。
- ●水を入れたままや、水滴がついたまま放っておいた場合、炊飯かまの内面が変色することがあります。変色しても有害ではありませんが、放置すると変色が進行しますのでクレンザー等で磨きとってください。
- ●炊飯かま底面の感熱部受けの汚れをきれいにふきとってください。異物がつくと炊飯不良の原因になります。

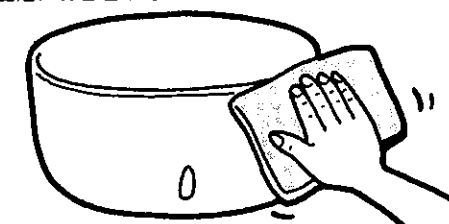
●ふた

- ●そのつどやわらかいスポンジを使って洗ってください。汚れのとれにくいときは中性洗剤で洗って、そのあと乾いた布で水気をふいてください。

●ライスネットをお使いになる場合

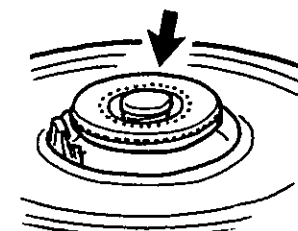
- ●炊飯ごとに必ずライスネットと釜のお手入れを行ってください。
- ●炊飯後はそのつど、きれいに洗ってください。目づまりしていると、早切れ、炊きむらの原因となります。手洗いでは不十分ですので、洗濯機「すすぎモード」で水洗いされることをおすすめします。
- ●毎日の炊飯回数に応じた予備のライスネットを用意され、きれいに洗われたものを1回に限り使用していただく方法をおすすめします。たとえば、1日5回炊飯の場合は、5枚のライスネットを用意する。

●炊飯燃焼部

炊飯受け皿が汚れたときは、水洗いしてください。その後、乾いた布で水気をとってください。炊飯燃焼部には、安全装置が組み込まれていますのでぬらさないでください。

●立消え安全装置

やわらかな布などで汚れをふきとってください。汚れていたり、位置が変わると点火しにくくなります。固いものをぶつけたりして位置を動かさないようにしてください。

●外わく

水洗いします。汚れのとれにくいときは、中性洗剤で洗って、その後、乾いた布で水気をとってください。金属タワシなどで強く洗いますと、ほうろうがいたみますのでご注意ください。

●バーナー・感熱部

バーナー炎口がつまっているときはけがをしないように手袋などはめて針金などでとり除いてください。感熱部の汚れがこびりついて取れないときは極細目のサンドペーパー（目のあらさ４００番程度）で表面に傷がつかない程度に軽くこすってください。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理、改造は行わないでください。火災・ガス漏れの恐れや異常動作してけがをすることがあります。

分解禁止

お願い

●プラスチック・印刷・塗装面ほうろうのお手入れには酸性・アルカリ性の洗剤、アルコール・シンナー・金属たわし、ナイロンたわし、クレンザー（みがき粉）などは使わないでください。

お願い 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときには、やわらかい布などで汚れを拭きとってください。また、お手入れの際には、はがれないようご注意ください。はがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または当社事業所で新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

使用方法

故障・異常の見分け方と処置方法

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止して十分な点検をお願いします。

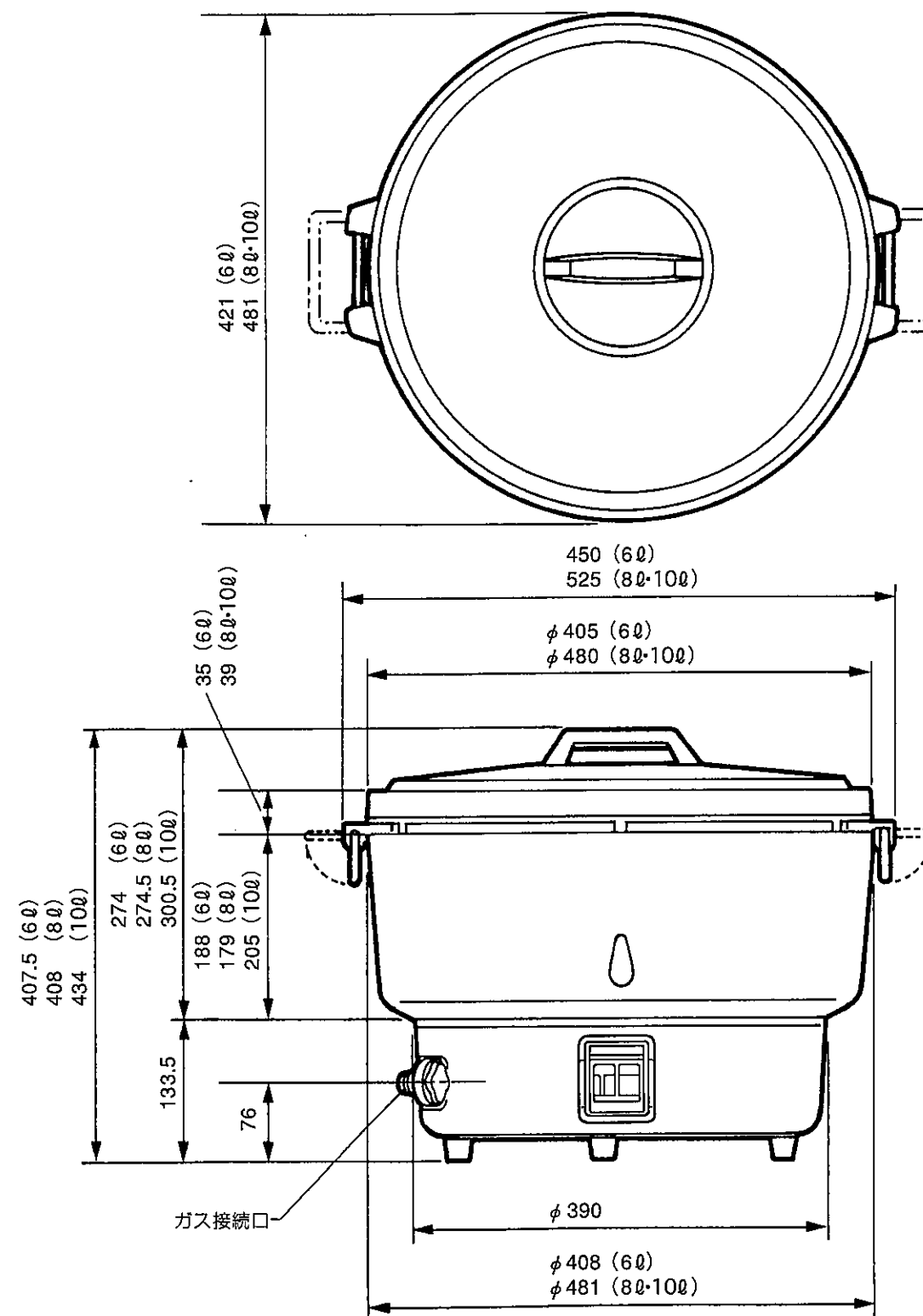
⚠警告

・使用中に異常を感じたとき
(1) すぐ使用を中止する
(2) あわてずガス栓を閉める

現　象	原因と処置	
点火しない 点火しにくい 使用中に消火した	1. ガス栓・器具栓が全開になっていない 2. 機器セット不良 3. ゴム管の折れ曲がり・つぶれ 4. 点火操作が適切でない 5. LPガスがなくなりかけている 6. ヒューズコック作動	⇒全開にする ⇒正しくセットする ⇒折れ・曲がりを直す ⇒押し時間を長くする ⇒新しいボンベに交換する ⇒ガス栓を1度閉にして開にする
炎が安定しない 黄炎で燃える 異常音をたてて燃える	1. バーナー炎口づまり 2. LPガスがなくなりかけている	⇒炎口づまりを掃除する ⇒新しいボンベに交換する
ご飯がうまく炊けない ・自動消火しない ・早切れする ・ふきこぼれが多い ・ご飯がこげる ・炊きむらがある	1. 機器が傾いている 2. 機器セット不良 3. 感熱部・感熱部受けの汚れ・異物付着 4. 水加減不良 5. 洗米不良 6. ご飯をほぐしていない・むらしていない 7. ライスネット使用時ライスネットの目づまり 8. ゴム管の折れ 9. ヒューズコックの作動	⇒正しく設置する ⇒正しくセットする ⇒汚れ・異物を取り除く ⇒正しく水加減する ⇒正しく洗米する ⇒15〜20分むらし後、よくほぐす ⇒ライスネットをよく洗う ⇒折れ・曲がりを直す ⇒ガス栓を1度閉にして開にする
ガスのにおいがする	ガスゴム管のひび割れ・穴あき	⇒ガスゴム管を交換する
ふきこぼれや風などで炎が消えたとき **(炊飯中に口火レバーを上げても同じです)**	安全のため立消え安全装置が働き、自動的にガスが止まります。 消火に気づいたときは、すぐ全てのレバーを「止」にしてください。 再点火するときは、周囲にガスがなくなってから点火操作してください。	

以上のことをお調べの上、なお異常のあるときは、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店か、当社事業所に修理を依頼してください。

寸法図

〔単位：mm〕

仕様

■仕様

型式の呼び	RR-30S1	RR-30SH	RR-30SK	RR-30S1-A	RR-30S1-B	RR-40S1	RR-40SK	RR-50S1	RR-50SH	RR-50SK
型式名	RR-30S1	RR-30SH	RR-30SK	RR-30S1-A	RR-30S1	RR-40S1	RR-40SK	RR-50S1	RR-50SH	RR-50SK
器具栓の有無	有	無		有		有	無	有	無	
炊飯量ℓ(升)	2.8(1.1)～6.0(3.3)					3.0(1.6)～8.0(4.5)		4.0(2.2)～10.0(5.6)		
外形寸法(mm) 幅	450					525		525		
外形寸法(mm) 奥行	421					481		481		
外形寸法(mm) 高さ	407.5					408		434		
質量(Kg)	12.5					14.5		15.5		
ガス接続 都市ガス	φ13mmゴム管				φ9.5mmゴム管	φ13mmゴム管				
ガス接続 LPガス	φ9.5mmゴム管				－	φ9.5mmゴム管				
自動炊飯システム機との接続	不可	可		不可		不可	可	不可	可	
安全装置	立消え安全装置									
点火方式	圧電点火式									

■個別ガス消費量(1時間当りのガス消費量：kW)

使用ガス ＼ 型式の呼び		RR-30S1	RR-30SH	RR-30SK	RR-30S1-A	RR-30S1-B	RR-40S1	RR-40SK	RR-50S1	RR-50SH	RR-50SK
LPガス		5.54			6.40	－	9.34		10.3		9.34
都市ガス	13A	5.52			6.40	5.52	9.30		11.0		9.30
	12A	5.17			5.99	5.17	8.66		10.3		8.66
	6A	5.81			6.45	－	9.53		11.2		9.53
	6B	5.81			6.57	－	9.71		11.3		9.71
	7C	6.10			6.80	－	9.88		11.6		9.88
	6C	5.64			6.28	－	9.30		10.8		9.30
	5A	5.81			6.45	－	9.30		10.9		9.30
	5B	5.76			6.40	－	9.24		10.8		9.24
	5C	5.64			6.40	－	9.30		11.0		9.30
	5AN	5.58			6.40	－	9.30		10.9		9.30
	4A	5.35			6.34	－	8.78		9.88		8.78
	4B	5.41			6.40	－	8.90		10.0		8.90
	4C	5.70			6.69	－	9.30		10.5		9.30

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

保管とアフターサービス

●保管（長期間使用しない場合）

各部の汚れを取り除き、十分に乾燥してからほこりなどの異物が入らないようにビニールに包み、お求めになったときのパッキングケースに入れ湿気やほこりの少ないところへ保管してください。
特にガス通路部分（ゴム管口など）には、ほこりが入ってガス通路をつまらせないようにしてください。

●アフターサービスについて

■サービス（点検・修理など）を依頼される前に

●15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓を閉じ、お買い上げの販売店か、当社事業所にご連絡ください。
●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
①品名・ガスの種類
②形式の呼び（銘板表示のもの）
③故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
④ご住所・お名前・電話番号・道順
⑤訪問ご希望日

■転居される場合

●ガスには都市ガス数種類及びLPガスの区分があります。

⚠警告

ガスの種類（ガスグループ）が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。

●転居にともなう調整や改造に要する費用は、有料となります。

■保証について

●裏表紙が保証書になっています。
●当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください。）
●必ず、「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みください。
保証書を紛失されますと保障期間内であっても修理費をいただく場合があります。

■アフターサービスなどの連絡先

●お買い上げの販売店か、フリーダイヤルにご連絡ください。
（別添の「連絡先一覧表」を参照してください。）

リンナイフリーダイヤル
☎0120-054321

■お客様の個人情報の取り扱いについて

●当社は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報をサービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
●当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

1. 保証期間はお買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
   保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
   ただし、消耗部品は、保証の対象ではありません。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、別添の『連絡先』一覧表をご覧の上、当社事業所にご連絡ください。
4. 本保証書は、再発行いたしませんので大切に保存してください。
5. 無料修理についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   (ニ) 車両・船舶への搭載で使用された場合の故障および損傷。
   (ホ) 本書の提示がない場合。
   (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
   (ト) 指定外の燃料、使用電源(電圧)の使用による故障および損傷。
   (チ) ご転居などによる熱量変更に伴なう改造・調整の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別添の「連絡先」一覧表をご覧の上、当社事業所にお問い合わせください。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	年　　月　　日		
販売店		扱者印	
住所			
電話番号			

お客様へ
この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社
〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表 052(361)8211